



5/16~17 6年生の修学旅行がありました

京都、奈良、大阪を巡り、日本の歴史、先進技術などを学びました。グループで効率よく活動する姿は、逞しく生きる力を感じさせてくれました。今後も学校のリーダーとして力を発揮してほしいと思います。



自己肯定感を育てるために

昨年度の学校評価や振り返りから、子供たちの自己肯定感の低さが見えてきました。

自己肯定感とは「自己を肯定する感覚」、つまり「自分は大切な存在だ」と感じる心の感覚です。自己肯定感が高いというのは、「自分は大切な存在、価値ある存在だ」と感じているということです。高い人は、自分のためなところを理解し、よりよい自分になるために前向きな努力が自然にでき、一方、低い人は、自分はだめだと思い込み、他人からの意見や褒め言葉を素直に受け止めることができないようです。子供の自己肯定感を高めるには、何かしら達成した経験をつませてあげることが効果的と言われています。ありきたりですが、勉強が得意な子は勉強で、スポーツが得意な子はスポーツでといった感じで、その子の得意な個性を活かして、何かしら達成体験をつませてあげることが大切です。



学校では子供たちの言動を認め、褒め、励ます教育に力を入れると同時に、SSE（ソーシャルスキル教育）のプログラムを用いて社会性を育てていくことや、構成的グループエンカウンターエクササイズを用いて自己肯定感や集団を育てていく実践を進めていきます。各担任が学年の子供たちの実情に合わせた活動計画を立て、徐々に育てていくと考えていますので、具体的な活動内容については、担任にお問い合わせください。



2年生、3年生では、4月に「聴き方名人」のプログラムを実施しました。ご家庭にワークシートを持ち帰り、家庭での実践にもつなげる取組でした。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。子供たちの自己肯定感を育てるには、授業だけでなく、周りの大人の接し方が大切です。ご家庭と連携した取組を年間通じて行って参りますので、ご協力をお願いいたします。

校長室から…(ある日の1時間の記録)

◆3年生が駐車場で影の観察をしている。「太陽が上にあるので短い。冬になるとばあーって長くなるんや。」さすが！ 1階の◆わかばさんは、各自の課題に集中モード。がんばれ！ 2階に上がると、◆1年生がペア学習の真っ最中。「6は2と4。」隣の子に上手に言えている！ ◆2年生はクジャクやレッサーバンドの絵。美しい色使いだ！ 3階では◆4年生が毛筆「虫」を仕上げたところ。全員がポイントをしっかり押さえている！ ◆6年生は机を向かい合わせて討論中。かっいいい！ 校長室に戻ると、上の音楽室から◆5年生の実に美しいリコーダーの音色が。確実に上達している。子供たち、頑張っています。



5/17 5年生田植え

新しい学習指導要領について

令和2年度から「学習指導要領」（教育課程の基準）が新しくなります。これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたいといった願いが込められています。裏面に文部科学省からの保護者向けリーフレットを載せました。

この学校だよりは、学校のHP (<http://www.fukui-city.ed.jp/ago-e/>) でもご覧になれます。

